

生ごみを土に変えて、緑や花を一杯に



# 密閉式容器を使おう!

**購入補助金対象です!**

詳しくは市役所へ問い合わせてください。



## 密閉式容器ってなに?

酸素の少ない状態で働く微生物の活動を利用し、

**肥料を作ります!!**

特徴

◎虫が発生しにくい

◎屋内でも可能（冬でも保管可能♪）

△生ごみの量は減りにくい



## 1. ぼかしを入れる。

容器の底にぼかし（または米ぬか）をさっと撒きます。



## 2. 生ごみを入れる。

よく水を切った生ごみを容器に入れ、ぼかしを振りかけます（生ごみ1kgに対し50gほど）。良く馴染ませてください。



## 3. 空気を押し出す。

しゃもじ等を使い、生ごみを上から押さえて生ごみの間にある空気を押し出します。



## 毎日の管理

毎日手順2、3を繰り返します。発酵が進むと容器の底に発酵液が溜まってくるのでこまめに取り出します。

**発酵液**は、水で1000～2000倍に薄めると肥料として使えます。空気に触れると悪臭が発生するので早めに使うようにしましょう。

## 堆肥として使う

- ・生ごみ処理開始から2週間ほどしたら、土と混ぜます。夏の気温が高い時期は臭いが出やすい為1週間を目安に。
- ・うね間に溝を掘り、処理した生ごみを少しずつ撒き、土とよく混ぜ、さらに土を被せます。
- ・プランターで使用する場合は、処理した生ごみに対し4倍以上の土を混ぜ、1か月程度置きましょう。生ごみの形と臭いが無くなったら作物を植えます。

